

(様式2)

令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業報告書

令和5年2月8日

国際交流推進センター長 殿

事業責任者(申請者)

所 属 佐賀大学医学部整形外科学教室

職 名 准教授

氏 名 森本忠嗣

下記のとおり令和4年度佐賀大学研究者国際交流支援事業の実施結果について報告します。

1.国際研究集会名	Saga Osteoporosis and bone metabolism Seminar		
2.事業責任者 (申請者)	森本忠嗣	3.所属・職名	准教授
4.開催期間	令和5年2月3日～令和5年2月3日		
5.申請区分	A) 学術交流協定(大学名) Kohn Kaen University B) 共同研究 C) 一般		
6.参加者数 ※参加者名簿(別添) を添付	参加者数 26名 内、外国人数 1名、研究者数 15名、 学部学生数 0名、修士以上学生数 0名		
7.招待講師	所 属	Kohn Kaen University	
	職 名	Associate Professor	
	氏 名	Permsak Paholpak	
8.支出額	金 額	249,800 円	
	【内訳】		
	謝金	円	
	旅費	142,000 円	
	会場費	107,800 円	
	消耗品費	円	
9.国際研究集会の内容	タイのコンケン大学は当大学の学術交流協定校であり、様々な整形外科疾患に対して、多様な手術を高度なレベルで行っていることで知られている。また、タイでは献体数が多く、解剖遺体を利用した解剖学的		

研究やバイオメカニクスの研究が盛んに行われている。その中でも精力的に学術活動を行っている Dr. Paholpak を招聘した。Dr. Paholpak は日本への留学経験があり、日本で経験した医療と自国のタイでおこなっている医療の違いや、日本での経験をどう自国で活かしたのかの講演が行われた。また青山総合病院副院長の笠井先生を招聘した。笠井先生は元三重大学脊椎外科・医用工学講座 脊椎外科・医用工学 教授で、現在はタイの Dr.Paholpak が所属する Kohn Kaen University 国際教授であり、またミャンマーのヤンゴン第一医科大学 名誉教授でもある。国際医療支援を盛んに行っており、途上国における医療提供のあり方や整形外科治療（骨粗鬆症治療を含む）、さらにはミャンマーでの軍事クーデター下での医療のあり方や、その変遷について講演が行われた。

10.事業実施による成果・今後の事業の発展等

若手整形外科医師を中心に 26 名の参加者で行われた当会は盛況のうちに閉会となった。国際色豊かな演者を 2 人招聘し、各国の医療情勢を知ることで、当大学の若手研究者が早期に国際感覚を養うことに寄与したと思われる。さらに今後の Kohn Kaen University との共同研究の発展や若手研究者の交換留学などの意見を交わした。

今後コンケン大学医師との交流から佐賀大学整形外科医師が学ぶことは多岐にわたることは言うまでもない。こうした交流は 2022 年 8 月に申請者がコンケン大学で実施した解剖遺体を利用した脊椎外科のバイオメカニクスに関するパイロットスタディを発展させ、コンケン大学と共同して、この分野の国際研究集会を開催することで、学術的な発展、および若手研究者の研鑽、意識向上につながる可能性が高い。昨今では共同研究によりお互いの高度な専門性を併せた研究が論文投稿に求められており、こうした交流から共同研究へと、最近の学際的研究の流れに沿った発展が期待できる。

※欄内に収まらない場合、適宜、行を追加し、ページを増やしていただいても構いません。